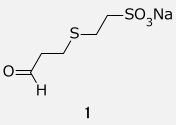
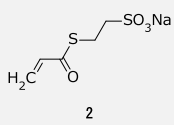
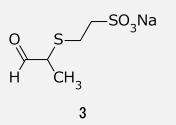
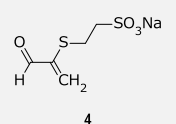
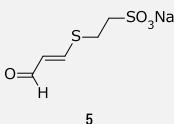
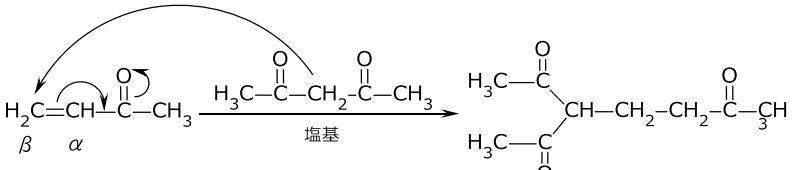
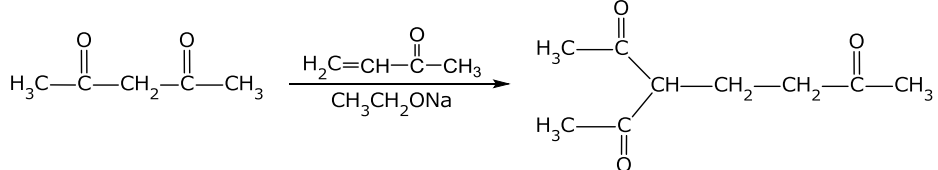


2日目① 一般問題（薬学実践問題） 【物理・化学・生物/実務、衛生/実務】

<p>問 197 (物理) 解答：2</p>	<p>MRI 及び MRI 造影剤に関する記述のうち、正しいのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 MRI では放射線を使用しないが、X線による被曝を受ける。 2 MRI では、体内の水などの水素原子核の緩和時間の差を利用している。 3 MRI では、ドップラー効果により血流速度を測定することができる。 4 ガドリニウム造影剤に含まれる Gd^{3+} イオンは、反磁性を示す。 5 硫酸バリウムは MRI 造影剤として用いられる。
<p>メディやま</p>	<p>・画像診断技術（複合）</p>
<p>問 198 (物理) 解答：3</p>	<p>患者はてんかんの内服薬を常用していたが、術後内服ができないため、フェニトインナトリウム注射液を 1 日 1 回投与しなければならない。以下の投与経路のうち、適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Aのラインを止め、Eから生理食塩液 10 mL 程度を管注 (I.V.Push) した後に投与する。 2 Bのラインを止め、Eから管注 (I.V.Push) する。 3 Cのラインを止め、Dから生理食塩液 10 mL 程度を管注 (I.V.Push) した後に投与する。 4 Cに混和して投与する。 5 注射用カンレノ酸カリウムと混和してDから管注 (I.V.Push) する。
<p>メディやま</p>	<p>配合変化（フェニトインNa）</p>
<p>問 202 (実務) 解答：1</p>	<p>薬局で購入できる貼付剤の成分のうち、この女性に推奨すべきでないのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ケトプロフェン 2 ロキソプロフェンナトリウム水和物 3 インドメタシン 4 フルルビプロフェン 5 フェルビナク
<p>メディやま</p>	<p>禁忌（ケトプロフェンテープ剤）</p>
<p>全統模試 I</p>	<p>問 87 長時間の農作業等、炎天下での作業時に使用を避けるべき医薬品として、最も適切なものはどれか。1つ選べ。</p> <p>1 テオフィリン徐放錠 2 ケトプロフェンテープ 3 リバステグミンパッチ 4 アゼラスチン塩酸塩顆粒 5 プレドニゾン錠</p>

<p>問 207 (化学) 解答：1</p>	<p>メスナは、イホスファミドの代謝物であるアクロレインと反応し、化合物 A を生成する。化合物 A を生成する。化合物 A の構造式として正しいのはどれか。1 つ選べ。</p> <div style="text-align: center;"> $\text{HS-CH}_2\text{-SO}_3\text{Na} + \text{H-CH=CH}_2 \longrightarrow \text{A}$ <p>メスナ アクロレイン</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>3</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>4</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>5</p> </div> </div>
<p>メディやま</p>	<p>マイケル付加反応 炭素アニオンがα,β-不飽和化合物に共役付加を行う反応であり、塩基によって触媒される。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
<p>全統模試 I</p>	<p>問 103 次のカルボニル化合物の反応のうち、主生成物の構造が誤っているのはどれか。1 つ選べ。(一部抜粋)</p> <p>2 <Michael 付加反応></p> <div style="text-align: center;">  </div>
<p>問 208 (実務) 解答：3</p>	<p>問 208 (実務) 投与する用量として、添付文書には「本剤又は本剤を希釈した液を、初回にアセチルシステインとして 140 mg/kg、次いでその 4 時間後から 70 mg/kg を 4 時間毎に 17 回、計 18 回経口投与する。」と記載されている。投与されるアセチルシステイン内服液 17.6% の総量 (mL) として最も近いのはどれか。1 つ選べ。</p> <p>1 34 2 170 3 340 4 1,700 5 3,400</p>
<p>メディやま</p>	<p>水剤の秤量計算 (w/v%)</p>

問 210
(実務)
解答：1・2

1 歳男児。耳鼻科を受診し中耳炎と診断され、以下の薬剤が処方された。母親が処方箋を持参し、薬局を訪れた。

(処方)

セフトレノ ピボキシル細粒 10% 1回 0.5g (1日 1.5g)
1日 3回 朝昼夕食後 5日分

問 210 (実務)

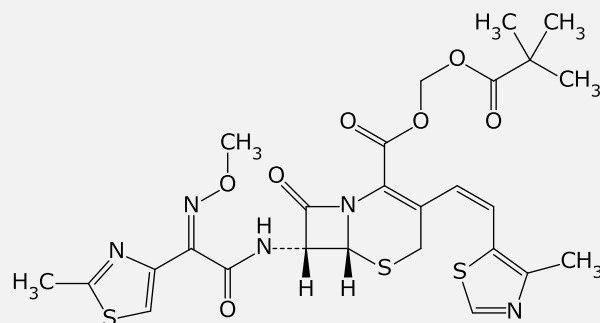
この薬剤についての母親への説明として適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1 症状の有無にかかわらず、5日間は飲み続けてください。
- 2 まれに痺れんしたり、意識を失うようなことがありますので、その際は直ちに受診してください。
- 3 下痢が起こることがありますが、よくある副作用なので心配ありません。
- 4 尿が赤くなることがあります。心配ありません。
- 5 甘味がついてあり、苦味を感じることはありません。

問 211
(化学)
解答：3・4

問 211 (物理・化学・生物)

セフトレノ ピボキシルに関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ



セフトレノ ピボキシル

- 1 ペネム骨格を有している。
- 2 β -ラクタム環のカルボニル基の炭素の求電子性は、一般的な鎖状アルミドのカルボニル基の炭素に比べて低くなっている。
- 3 細菌中のペプチドグリカン合成酵素との間で、 β -ラクタム環の開環を伴って共有結合を形成することにより細胞壁の生合成を阻害する。
- 4 セフトレノのカルボキシ基を構造修飾することにより、経口吸収性が改善されたプロドラッグである。
- 5 生体内での加水分解反応によって、セフトレノ、酢酸及びピバル酸 (2,2-dimethylpropanoic acid) を生じる。

問 210-211 2 歳男児。38.0 °C の発熱で受診し中耳炎と診断され、以下の薬剤が処方された。

(処方 1)

セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物小児用細粒 100 mg (力価)

1 回 30 mg (力価) (1 日 90 mg)

1 日 3 回 朝昼夕食後 5 日分

(処方 2)

アセトアミノフェン坐剤 100 mg

1 回 1 個

発熱時頓用 5 個

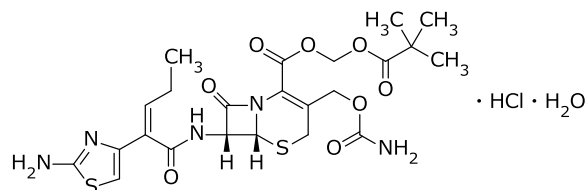
問 210 (実務)

セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物はプロドラッグであり、吸収時、消化管壁で活性体となる。この際に副産物として生成するピバリン酸により生じる副作用はどれか。1 つ選べ。

- 1 高カリウム血症 2 低カルニチン血症 3 聴覚障害
4 高血糖 5 ビタミン D 欠乏症

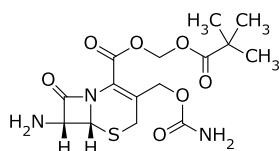
問 211 (物理・化学・生物)

セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物の生体内における活性体はどれか。1 つ選べ。

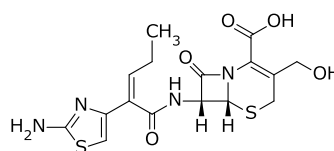


セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物

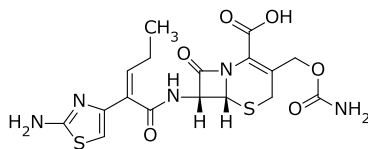
1



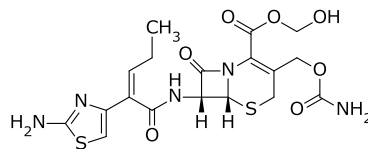
2



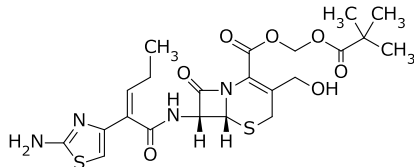
3

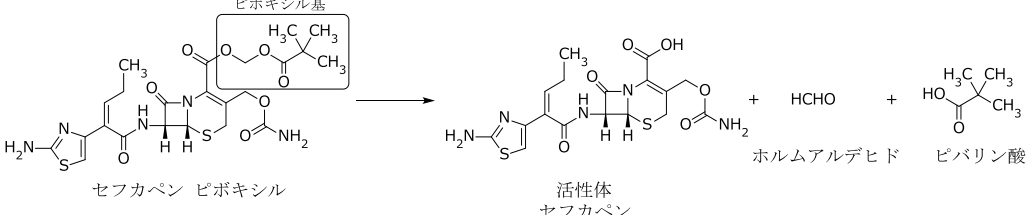
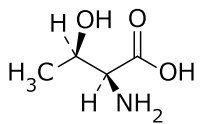
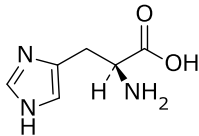
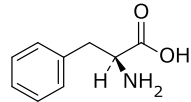
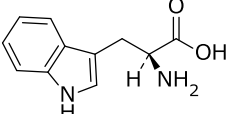
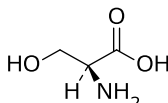


4



5



	<p>(解説5)</p> <p>セフカペン ピボキシルは吸収時、消化管壁のエステラーゼにより加水分解を受けて活性体セフカペンとなる。また、ピボキシル基は、ホルムアルデヒドとピバリン酸に分解される。</p>  <p>セフカペン ピボキシル</p> <p>活性体 セフカペン</p> <p>ホルムアルデヒド</p> <p>ピバリン酸</p>
<p>問 216</p> <p>(実務)</p> <p>解答：4</p>	<p>被災地支援の薬剤師が避難所等を巡回する際に、エコノミークラス症候群予防のために提供する情報として、適切でないはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 足の腫れや痛みがある時は、すぐに医療機関を受診してください。 2 ゆったりとした服装で過ごしてください。 3 1、2ヶ月以内に大きな手術を受けた方はご相談ください。 4 水分の摂取を控えてください。 5 足や足の指をこまめに動かしてください。
<p>メディアやま</p>	<p>深部静脈血栓症</p>
<p>問 221</p> <p>(生物)</p> <p>解答：2・5</p>	<p>統合失調症では、様々な神経伝達物質との関連が示唆されている。神経伝達物質に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ノルアドレナリンの水酸化によりドパミンが生合成される。 2 ドパミンは、酸化脱アミノ化と水酸基のメチル化により代謝される。 3 セロトニンは、フェニルアラニンの水酸化と脱炭酸反応により生合成される。 4 グルタミン酸は、アスパラギン酸のアミノ基がオキサロ酢酸に転移されて生合成される。 5 グルタミン酸受容体は、イオンチャンネル型と代謝調節型に分類される。
<p>全統模試Ⅰ</p>	<p>問 113</p> <p>1 アラニンのアミノ基が 2-オキソグルタル酸に転移すると、アラニンはピルビン酸になる。</p>
<p>全統模試Ⅱ</p>	<p>問 13 以下のアミノ酸のうち、水酸化によりチロシンを生じるのはどれか。1つ選べ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>1</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>2</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>3</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>4</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>5</p>  </div> </div>

<p>問 227 (衛生) 解答：3</p>	<p>アルファカルシドールカプセルはビタミンD 製剤である。ビタミンD の代謝反応のうち、慢性腎不全の患者において低下しているのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 7-デヒドロコレステロールの開環反応 2 7-デヒドロコレステロールの1位の水酸化反応 3 25-(OH) ビタミンD の1位の水酸化反応 4 1α-(OH) ビタミンD の25位の水酸化反応 5 25-(OH) ビタミンD の開環反応
<p>全統模試Ⅱ</p>	<p>問 257</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 アルファカルシドールは肝臓で水酸化を受け、腸管からのカルシウムの吸収を促進する。
<p>問 229 (衛生) 解答：1・3</p>	<p>脂肪乳剤輸液に用いられる脂質に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 脂肪乳剤中の油脂には必須脂肪酸のリノール酸及びα-リノレン酸が含まれている。 2 中鎖脂肪酸は長鎖脂肪酸に比べてエネルギーに変換されにくいので、中鎖脂肪酸を含む油脂は脂肪乳剤としては用いられない。 3 脂肪乳剤中の脂質1gあたりのエネルギー量は約9kcalである。 4 脂肪乳剤中のトリアシルグリセロールは、リポタンパク質リパーゼによりモノアシルグリセロールと脂肪酸に分解され組織に吸収される。 5 脂肪乳剤には乳化剤としてコレステロールが含まれている。
<p>全統模試Ⅰ</p>	<p>問 121</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 キロミクロン中のトリアシルグリセロールはリポタンパク質リパーゼによって脂肪酸とグリセロールに分解され、脂肪酸は筋肉と脂肪組織に、グリセロールは肝臓にそれぞれ取り込まれる。 5 トリアシルグリセロールは主に脂肪酸とグリセロールに分解されて腸管から吸収される。
<p>問 237 (衛生) 解答：2・4</p>	<p>予防接種法に基づく定期の予防接種に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者の肺炎球菌感染症は予防接種法におけるB 類疾病に含まれ、65 歳以上になると、肺炎球菌ワクチンは毎年度1 回ずつ接種することができる。 2 ポリオ(急性灰白髄炎)のワクチンは、ジフテリア、百日咳、破傷風のワクチンとともに、4 種混合ワクチンとして接種される。 3 麻しん・風しん混合ワクチンは、免疫効果が強い生ワクチンなので、生後12~24 ヶ月の間に1 回のみ接種される。 4 水痘は予防接種法におけるA 類疾病に分類され、そのワクチンとしては弱毒生ワクチンが用いられる。 5 インフルエンザ菌b 型(Hib)に対するワクチンは、インフルエンザウイルスに対しても効果を示す。
<p>メディやま</p>	<p>感染症とその予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風疹 <p>五類感染症全数把握、再興感染症の一つ、患者の7割が男性、MR ワクチン2回接種</p> <p>先天性風疹症候群予防のため生ワクチン接種後2カ月は避妊する(妊婦に禁忌)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種：定期 A 類疾病（努力義務対象） DPT-IPV ワクチン（4 種混合） →ジフテリアトキソイド+破傷風トキソイド+百日咳不活化ワクチン+ポリオ不活化ワクチン 				
問 238 (実務) 解答：1・5	<p>問 238-239 40 歳男性。喫煙歴 20 年、気管支ぜん息の治療のためテオフィリン製剤を服用している。最近、ぜん息症状が悪化してきたこともあり禁煙を試みたいと薬局を訪れた。薬剤師は、ニコチンガム、ニコチンパッチ及びバレニクリン酒石酸塩錠について情報提供を求められた。</p> <p>問 238 (実務) 薬剤師が禁煙とその治療薬について説明する内容として、適切なのはどれか。2つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 禁煙したときのつらさは、ニコチン離脱症状により起こります。 2 いずれの薬も医師の処方箋が必要です。 3 ニコチンパッチは、禁煙開始前から使用することができます。 4 コーヒーや炭酸飲料を飲んだあとニコチンガムを使用すると、ニコチンが吸収されやすくなるので注意が必要です。 5 バレニクリン酒石酸塩錠は、喫煙に代わってニコチンを補充する薬剤ではありません。 				
メディアやま	<p>服薬指導（バレニクリン）</p> <table border="1"> <tr> <td><問題> バレニクリン酒石酸塩は、服用開始と同時に禁煙を始めるよう指導する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td><解答> 本剤は飲み始めの1週間は喫煙することができる。8日目以降に禁煙を開始する。</td> <td>×</td> </tr> </table>	<問題> バレニクリン酒石酸塩は、服用開始と同時に禁煙を始めるよう指導する。		<解答> 本剤は飲み始めの1週間は喫煙することができる。8日目以降に禁煙を開始する。	×
<問題> バレニクリン酒石酸塩は、服用開始と同時に禁煙を始めるよう指導する。					
<解答> 本剤は飲み始めの1週間は喫煙することができる。8日目以降に禁煙を開始する。	×				
問 244 (実務) 解答：1・3	<p>廃棄にあたり感染性廃棄物と同等に取り扱うべきものはどれか。2つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 薬液をとって空になったガラス製アンプル 2 薬液をとる際に用いた注射筒（シリンジ） 3 薬液をとる際に用いた注射針 4 バイアルゴム栓のアルコール消毒に用いたガーゼ 5 調製時に用いたプラスチックグローブ 				
メディアやま	<p>廃棄物：医療廃棄物（感染性）の分別</p> <p>特別管理産業廃棄物：血液付着手術用ディスポ手袋、鋭利なもの</p> <p>特別管理一般廃棄物：血液付着ガーゼ、紙おむつ（1～3 類感染症、他ノロウイルス感染者などに限る）</p> <p>バイオハザードマーク（黄色：鋭利なもの、赤色：液状・泥状、橙色：固形）</p>				
問 245 (衛生) 解答：1・4	<p>感染性廃棄物に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 薬剤師は、感染性廃棄物に係る特別管理産業廃棄物管理責任者になることができる。 2 感染性廃棄物は減菌処理した後も、全て指定された容器に分別しなければならない。 3 感染性産業廃棄物の処理は、指定を受けた契約業者に委託するためマニフェスト制度の対象外である。 4 感染性廃棄物を入れる容器にはバイオハザードマークを付けるか、感染性廃棄物であることを明記する必要がある。 				

メディアやま	<p>廃棄物：医療廃棄物（感染性）の分別</p> <p>特別管理産業廃棄物：血液付着手術用ディスポ手袋、鋭利なもの</p> <p>特別管理一般廃棄物：血液付着ガーゼ、紙おむつ（1～3 類感染症、他ノロウイルス感染者などに限る）</p> <p>バイオハザードマーク（黄色：鋭利なもの、赤色：液状・泥状、橙色：固形）</p>
全統模試Ⅱ	<p>問 244-245 医療機関から排出される廃棄物については、適正な処理や管理、分別を行わなければならない。</p> <p>問 244（衛生） 廃棄物とその処理に関する記述のうち、誤っているのはどれか。1つ選べ。</p> <p>2 医療機関の管理者は、特別管理産業廃棄物管理責任者を設置し、廃棄物の取扱いに関する管理体制を整備しなければならない。</p>

2日目② 一般問題（薬学実践問題） 【薬理/実務、薬剤/実務】

<p>問 247 (薬理) 解答：1・4</p>	<p>53 歳男性。尿酸値が高く、3 週間前より処方 1 で治療を開始。その 2 週間後、尿酸値が改善されなかったため処方 2 及び処方 3 が追加となった。</p> <p>(処方 1) フェブキソスタット錠 10 mg 1 回 1 錠 (1 日 1 錠) 1 日 1 回 夕食後 14 日分</p> <p>(処方 2) ベンズプロマロン錠 25 mg 1 回 1 錠 (1 日 1 錠) 1 日 1 回 夕食後 14 日分</p> <p>(処方 3) クエン酸カリウム・クエン酸ナトリウム配合錠 1 回 2 錠 (1 日 6) 1 日 3 回 朝昼夕食後 14 日分</p> <p>処方 2 及び処方 3 を追加して 7 日後、患者より「新年会が続き、ビールを飲む量が増えており、足の親指が腫れて激しい痛みが生じてきた。」との訴えがあった。</p> <p>問 246 (実務) この場合の処置として適切なのはどれか。1 つ選べ。 1 フェブキソスタットを 40 mg に増量する。 2 ベンズプロマロンを 50 mg に増量する。 3 フェブキソスタットを 40mg に増量し、ベンズプロマロンを 50 mg に増量する。 4 フェブキソスタットとベンズプロマロンを中止し、コルヒチンを追加する。 5 処方 1、処方 2 及び処方 3 はそのまま、インドメタシンを追加する。</p> <p>問 247 (薬理) 処方された薬物及び前問で挙げた薬物の作用機序として、正しいのはどれか。2 つ選べ。 1 プロスタグランジン E₂ の産生を抑制する。 2 尿酸を酸化してアラントインと過酸化水素に分解する。 3 代謝物のオキシプリンール (アロキサンチン) がキサンチンオキシダーゼを阻害する。 4 腎臓の尿管において尿酸トランスポーターを阻害する。 5 T 細胞のチュープリンに結合し、微小管の脱重合を抑制して安定化する。</p>
<p>全統模試 I</p>	<p>問 34 尿酸生合成阻害薬はどれか。1 つ選べ。 1 ベンズプロマロン 2 コルヒチン 3 ラスプリカーゼ 4 ブコローム 5 トピロキソスタット</p>
<p>問 250 (薬理) 解答：1</p>	<p>72 歳男性。腎実質性高血圧症で循環器内科を受診し、以下の処方箋を持って薬局を訪れた。</p> <p>循環器内科 (処方 1) エホニジピン塩酸塩エタノール付加物錠 20mg 1 回 1 錠 (1 日 1 錠) イミダプリル塩酸塩錠 5mg 1 回 1 錠 (1 日 1 錠) 1 日 1 回 朝食後 28 日分</p>

	<p style="text-align: right;">(投与実日数)</p> <p>(薬袋 4)</p> <p>酪酸菌錠 (宮入菌として) 20 mg 1 回 1 錠 (1 日 3 錠)</p> <p>スクラルファート細粒 90 % 1 回 1 g (1 日 3g)</p> <p style="text-align: right;">1 日 3 回 朝昼夕食後 14 日分</p> <p>問 262 (実務)</p> <p>薬剤師は、この女性の検査所見より、服用中の薬剤の副作用を疑った。原因となった可能性の高い持参薬はどれか。1 つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 リセドロン酸 Na 錠 17.5 mg 2 プレドニゾロン錠 5 mg 3 メトトレキサートカプセル 2 mg 4 酪酸菌錠 (宮入菌として) 20 mg 5 スクラルファート細粒 90 % <p>問 263 (薬理)</p> <p>前問の「原因となった可能性の高い持参薬」の標的分子として正しいのはどれか。1 つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 グルココルチコイド受容体 2 シクロオキシゲナーゼ 3 カルシニューリン 4 ジヒドロ葉酸還元酵素 5 ファルネシルピロリン酸合成酵素
全統模試Ⅱ	<p>問 162 関節リウマチ治療薬に関する記述のうち、正しいのはどれか。2 つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 メトトレキサートは、還元型葉酸の合成を阻害し、副作用として出血傾向をおこすことがある。

<p>問 264 (薬理) 解答：2・4</p>	<p>問 264-267 58 歳男性。手術不能の直腸がんと診断され、以下に示すレジメンに従った化学療法を施行することとなった。</p> <p>(レジメン)</p> <table border="1" data-bbox="375 347 1428 1008"> <thead> <tr> <th></th> <th>1 日 目</th> <th>2 日 目</th> <th>3 日目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ベバシズマブ 5mg/kg (90 分で点滴静注)</td> <td>↓</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>イリノテカン塩酸塩水和物 150mg /m² (120 分で点滴静注)</td> <td>↓</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>レボホリナートカルシウム 200mg/m² (120 分で点滴静注)</td> <td>↓</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>フルオロウラシル 400mg/m² (5 分で静注)</td> <td>↓</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>フルオロウラシル 2,400mg/m² (46 時間で静注)</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→ (持続静注終了)</td> </tr> </tbody> </table>		1 日 目	2 日 目	3 日目	ベバシズマブ 5mg/kg (90 分で点滴静注)	↓			イリノテカン塩酸塩水和物 150mg /m ² (120 分で点滴静注)	↓			レボホリナートカルシウム 200mg/m ² (120 分で点滴静注)	↓			フルオロウラシル 400mg/m ² (5 分で静注)	↓			フルオロウラシル 2,400mg/m ² (46 時間で静注)	→	→	→ (持続静注終了)
	1 日 目	2 日 目	3 日目																						
ベバシズマブ 5mg/kg (90 分で点滴静注)	↓																								
イリノテカン塩酸塩水和物 150mg /m ² (120 分で点滴静注)	↓																								
レボホリナートカルシウム 200mg/m ² (120 分で点滴静注)	↓																								
フルオロウラシル 400mg/m ² (5 分で静注)	↓																								
フルオロウラシル 2,400mg/m ² (46 時間で静注)	→	→	→ (持続静注終了)																						
	<p>2 週間 1 クールとする</p> <p>問 264 (薬理) 処方薬の作用機序として正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 血管内皮細胞増殖因子 (VEGF) 受容体に結合する。 2 トポイソメラーゼ I 阻害する。 3 イリノテカン塩酸塩水和物は、フルオロウラシル投与後に点滴静注する。 4 DNA をアルキル化する。 5 チミシル酸合成酵素を阻害する。 																								
<p>メディアやま</p>	<p>分子標的薬 ベバシズマブ：VEGF に対するモノクローナル抗体</p>																								
<p>全統模試 I</p>	<p>問 165 抗悪性腫瘍薬に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>5 イリノテカンは、トポイソメラーゼ II に結合し、S 期特異的な抗腫瘍作用を示す。</p>																								
<p>全統模試 II</p>	<p>問 165 抗悪性腫瘍薬に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>3 レゴラフェニブは、血管内皮増殖因子受容体 (VEGFR) に対するモノクローナル抗体であり、副作用として手足症候群をおこすことがある。</p>																								
<p>問 265 (実務) 解答：1・3</p>	<p>薬剤師による初回面談の際に説明すべき処方薬の副作用として適切なはどれか。2つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高血圧 2 ざ瘡様皮疹 3 下痢 4 認知機能障害 5 高血糖 																								
<p>メディアやま</p>	<p>ベバシズマブの副作用に高血圧がある。</p>																								

問 266 イリノテカンに関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1 イリノテカンの活性代謝物（SN-38）は肝臓でグルクロン酸抱合を受け、胆汁中排泄された後、腸肝循環を受けずに糞便中に排出される。

2 アタザナビルと併用すると、UGT1A1 阻害作用により副作用の発現頻度は上昇する。

5 イリノテカンはカルボキシエステラーゼにより不活化される。

問 338 55 歳男性。進行下行結腸がん手術施行後、転移が認められたため、FOLFIRI+パニツムマブ療法が施行されることとなった。このがん化学療法を施行する際に、事前に複数の遺伝子検査を行うことが推奨されている。このうち「対象薬物 A の有効性の有無」を確認するための遺伝子検査を実施することになった。対象薬物 A に該当するのはどれか。1つ選べ。

- 1 グラニセトロン 2 レボホリナート 3 イリノテカン
 4 フルオロウラシル 5 パニツムマブ

解答：5

3 誤。イリノテカンは、重篤な副作用の発現を予期するために、UGT1A1 の遺伝子検査を行う。本問では有効性の有無を確認する検査を問いているため、適切ではない。イリノテカンの活性体は UGT によりグルクロン酸抱合を受けて代謝されるため、遺伝子多型により副作用の発現頻度が高くなる場合がある。

5 正。抗 EGFR 抗体薬であるセツキシマブおよびパニツムマブは、K-ras 遺伝子変異を示す患者においてはその有効性が確認されていないことが知られている。特に、化学療法対象の切除不能・再発大腸がん患者における既治療例では K-ras 遺伝子変異型は約 4 割にのぼるといわれており、K-ras 遺伝子検査は本剤の効果を予測する有力なバイオマーカーとして認知されている。

全統模試Ⅱ

問 304-305

問305（実務）

以下の薬剤が処方され、1 コース目の治療が開始された。本処方及び薬剤師が患者に伝えておく内容として誤っているのはどれか。1つ選べ。

（処方 1）

パニツムマブ 6 mg/kg	300 mg
生理食塩液	100 mL
	本管より点滴静注（60 分間で注入）

（処方 2）

パロノセトロン静注 0.75 mg	1 瓶
デキサメタゾン注射液 3.3 mg/1 mL	9.9 mg
生理食塩液	100 mL
	本管より点滴静注（30 分間で注入）

（処方 3）

オキサリプラチン注 5 mg/1 mL	124 mg
5%ブドウ糖液	250 mL
	側管より点滴静注（120 分間で注入）

	<p>(処方4)</p> <p>レボホリナート注射液 292 mg 5%ブドウ糖液 250 mL 主管より点滴静注(120分間で注入)</p> <p>(処方5)</p> <p>フルオロウラシル注射液 585 mg 処方3、4が終了後、本管より急速静注(5分間で静注)</p> <p>(処方6)</p> <p>フルオロウラシル注射液 3504 mg 生理食塩液 100 mL 主管よりバルーン式インフューザーポンプによる持続点滴静注(46時間)</p> <p>5 FOLFOXをFOLFIRIに変更する場合、<i>UGT1A1</i> 遺伝子多型の検査を行うべきである。</p>
<p>問280 (実務) 解答: 2・5</p>	<p>68歳男性。慢性閉塞性動脈硬化症における安静時疼痛に対し、アルプロスタジル注射液10μg(リピッドマイクロスフェア製剤)を輸液と混合し、持続投与することになった。病棟の看護師から、本剤の使用上の注意事項について薬剤師に問い合わせがあった。</p> <p>問280(実務)</p> <p>本剤の特徴に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> リン脂質の二重膜構造からなる閉鎖小胞で、脂溶性のアルプロスタジルはリン脂質二重膜の疎水部に封入されている。 植物油をレシチンで乳化したo/w型エマルジョンであり、脂溶性のアルプロスタジルは油滴内に封入されている。 血中滞留性の向上を目的として、粒子表面がポリエチレングリコールで修飾されている。 能動的に炎症部位へ薬物を送達するために、粒子表面が炎症細胞を認識する抗体で修飾されている。 受動的ターゲティングにより、炎症部位へ薬物が送達される。
メディやま	標的指向製剤(リピッドマイクロスフェア、リボソーム)
<p>問285 (薬剤) 解答: 1・4</p>	<p>今回処方されたインスリンカートリッジ製剤に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。ただし、本製剤中には、酢酸亜鉛、フェノール、濃グリセリン、塩酸、水酸化ナトリウムなどが添加されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 酢酸亜鉛は、インスリンの安定性を向上させる目的で添加されている。 フェノールは、pHを調整するために添加されている。 質量偏差試験により有効成分の均一性が保障されている。 カートリッジ製剤は、薬液調整時若しくは投与時の細菌汚染や異物混入の防止を目的としている。 本製剤中のインスリンは安定性が高いため、承認申請時の長期保存試験が免除されている。
メディやま	インスリンアナログ製剤

全統模試 I	<p>問 288-289 32 歳女性。健康診断で肝機能異常を指摘され、精密検査を受けたところ HBs 抗原、HBc 抗体がともに陽性であった。慢性 B 型肝炎と診断され、以下の処方による外来治療が開始された。</p> <p>(処方 1)</p> <p>注射用ペグインターフェロンα-2a 皮下注 (遺伝子組換え) 90μg/1.0 mL 用 皮下注射 1 バイアル</p> <p>問 288 (病態・薬物治療)</p> <p>この患者及び疾患に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>3 HBs 抗体は HBV の中和抗体であり、HBs 抗体陽性は過去の感染を表す。</p> <p>5 IgM 型-HBc 抗体は感染の既往を表す。</p>														
<p>問 304 (病態) 解答：4</p>	<p>クロピドグレルの治療抵抗性の原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。</p> <p>1 アスピリンとクロピドグレルの薬物相互作用</p> <p>2 ロサルタンによるクロピドグレルの代謝拮抗</p> <p>3 尿 pH の変動によるクロピドグレルの尿細管再吸収の低下</p> <p>4 クロピドグレルの代謝酵素の遺伝子多型</p> <p>5 ロスバスタチンによるクロピドグレルの代謝酵素の誘導</p>														
メディやま	<p>・代謝：遺伝的多型</p> <p><問題>クロピドグレルは、主に CYP2C19 により代謝されることで活性が増大する。</p>														
全統模試 II	<p>問 69 クロピドグレルの薬効に関与する薬物代謝酵素のうち、遺伝子多型が最も問題となるのはどれか。1つ選べ。</p> <p>1 CYP1A2 2 CYP2C9 3 CYP2C19</p> <p>4 CYP2B6 5 CYP3A4</p>														
<p>問 305 (実務) 解答：3</p>	<p>クロピドグレルの代替薬として、以下の薬剤のうち最も適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <p>1 トラネキサム酸 2 プロタミン 3 プラスグレル</p> <p>4 ワルファリン 5 メナテトレノン</p>														
メディやま	<p><問題>プラスグレルは CYP2C19 の遺伝子多型の影響を受けにくい。</p>														
全統模試 I	<p>問 287 (実務)</p> <p>経皮的冠動脈形成術 (PCI) が施行され、冠動脈に薬剤溶出ステントが留置された。合併症もなく、順調に回復したため、以下の処方による外来治療に切り替えることとなった。</p> <p>(処方 1)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>アスピリン腸溶錠 100 mg</td> <td>1 回 1 錠 (1 日 1 錠)</td> </tr> <tr> <td>プラスグレル硫酸塩錠 3.75 mg</td> <td>1 回 1 錠 (1 日 1 錠)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1 日 1 回 朝食後 14 日分</td> </tr> </table> <p>(処方 2)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>アトルバスタチンカルシウム錠 10 mg</td> <td>1 回 1 錠 (1 日 1 錠)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1 日 1 回 夕食後 14 日分</td> </tr> </table> <p>(処方 3)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>イコサペント酸エチル顆粒カプセル 600 mg</td> <td>1 回 1 包 (1 日 3 包)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1 日 3 回 朝昼夕食直後 14 日分</td> </tr> </table> <p>上記治療薬及び服薬指導に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>2 プラスグレルはクロピドグレルと比較して効果発現の個人差が少ない。</p>	アスピリン腸溶錠 100 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)	プラスグレル硫酸塩錠 3.75 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)		1 日 1 回 朝食後 14 日分	アトルバスタチンカルシウム錠 10 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)		1 日 1 回 夕食後 14 日分	イコサペント酸エチル顆粒カプセル 600 mg	1 回 1 包 (1 日 3 包)		1 日 3 回 朝昼夕食直後 14 日分
アスピリン腸溶錠 100 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)														
プラスグレル硫酸塩錠 3.75 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)														
	1 日 1 回 朝食後 14 日分														
アトルバスタチンカルシウム錠 10 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)														
	1 日 1 回 夕食後 14 日分														
イコサペント酸エチル顆粒カプセル 600 mg	1 回 1 包 (1 日 3 包)														
	1 日 3 回 朝昼夕食直後 14 日分														

<p>問 311 (法規) 解答：2・4</p>	<p>前問の医療費に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>1 一般用医薬品は、要指導医薬品、第一類医薬品、第二类医薬品及び第三類医薬品に分類される。</p> <p>2 要指導医薬品の適正な使用を確保できないと認められるときは、販売してはならない。</p> <p>3 店舗販売業の管理者が薬剤師であれば、登録販売者も情報提供及び指導をした上で、要指導医薬品を販売することができる。</p> <p>4 第一類医薬品を販売するときは、薬剤師があらかじめ、使用しようとする者の年齢、他の薬剤又は医薬品の使用の状況等を確認しなければならない。</p> <p>5 第三類医薬品については、当該薬局で購入した者から相談があっても、情報提供をしなくてよい場合がある。</p>	
<p>メディヤま</p>	<p>一般用医薬品の販売時の対応（第1類医薬品）</p>	
<p>全統模試Ⅰ</p>	<p>問 307（法規・制度・倫理）</p> <p>要指導医薬品の販売方法に関する記述のうち、誤っているのはどれか。1つ選べ。</p> <p>5 薬剤師は、要指導医薬品を適正な使用のために、必要と認められる数量に限り販売する。</p>	
<p>問 315 (法規) 解答：1・4</p>	<p>麻薬診療施設における麻薬の管理者に関する記述として、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>1 2人以上の麻薬施用者が診療に従事する麻薬診療施設の開設者は、当該麻薬診療施設に麻薬管理者を置かなければならない。</p> <p>2 管理している麻薬を廃棄する際には、廃棄してから30日以内に厚生労働大臣に届け出なければならない。</p> <p>3 麻薬の滅失や盗取等の事故が発生した場合における、麻薬管理者が行う品名及び数量等の届け出先は、厚生労働大臣である。</p> <p>4 麻薬管理者は事故の届け出をした麻薬の品名及び数量を麻薬診療施設に備えた帳簿に記載しなければならない。</p> <p>5 麻薬管理者の免許は、医師でなければ受けることができない。</p>	
<p>メディヤま</p>	<p>問 11</p> <p><問題>薬局における麻薬の廃棄又は再使用に関する記述のうち、正しいのはどれか。1つ選べ。</p> <p>1 薬局業務を廃止するので、不要となった麻薬を都道府県知事に届け出ることなく廃棄した。</p> <p>2 在庫していた麻薬の有効期限が切れたので、都道府県知事に麻薬廃棄届を提出し、保健所職員の立会いの下で廃棄した。</p>	<p>2</p>
<p>問 317 (法規) 解答：1・4</p>	<p>この漬物製造工場は、近くの薬局から劇物である塩酸と次亜塩素酸ナトリウムを購入していた。薬局及び漬物製造工場におけるこれらの劇物の取扱いに関する記述として、適切なのはどれか。2つ選べ。</p> <p>1 薬局で販売するためには、毒物又は劇物の販売業（毒物劇物販売業）の登録を受けなければならない。</p> <p>2 薬局で販売する場合、漬物製造工場の購入者の氏名及び住所を確認した後でなければ交付してはならない。</p> <p>3 漬物製造工場の責任者は、薬局から購入した劇物の名称と数量を帳簿に記載しなければ</p>	

	<p>ならない。</p> <p>4 漬物製造工場では、貯蔵する場所に「医薬用外」及び「劇物」の文字を表示しなければならない。</p> <p>5 漬物製造工場で廃棄する場合は、中和等により劇物に該当しないものにしなければならない。</p>
メディヤま	<p>問 14</p> <p>＜問題＞毒物又は劇物に関する記述のうち、誤っているのはどれか。2つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 毒物又は劇物の製造業の登録を受ければ、製造している毒物又は劇物と同一の品目について、販売又は授与の目的で輸入することができる。 2 特定毒物研究者は、特定毒物を製造又は輸入することができる。 3 毒物劇物営業者が、隣接する場所において、毒物又は劇物の製造業又は販売業を営むときは、製造所及び店舗の毒物劇物取扱責任者は、これらの施設を通じて1人で足りる。 4 大学の研究室において劇物を業務上取り扱う者は、劇物を貯蔵する場所に、「医薬用外」及び「劇物」の文字を表示しなければならない。 5 毒物劇物営業者は、毒物を廃棄しようとするときは、営業所の所在地の都道府県知事に届け出て、当該職員の立会いのもとに行わなければならない。 <p>＜解答＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ×：輸入するためには輸入業の登録が必要である。 2 ○ 3 ○：記述の通り 4 ○ 5 ×：毒物劇物を廃棄しようとするときは、都道府県知事の届出等は不要である。
問 319 (法規) 解答：2・4	<p>その後、この患者の服薬アドヒアランスを向上させるため、処方医の指示により薬剤師が患者宅を訪問した。患者の居宅で行うことができない業務はどれか。2つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 処方箋を受け取ること 2 薬剤を粉碎すること 3 疑義照会をすること 4 薬剤を一包化すること 5 薬剤を交付すること
メディヤま	患者の居宅でできる調剤行為
全統模試 I	<p>問 319 (実務)</p> <p>薬剤師が居宅療養管理指導を実施する場合、処方医に疑義照会せず、患者の居宅で行うことができる業務のうち、誤っているのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 錠剤が大きい場合に、粉碎して調剤すること
問 322 (法規) 解答：3	<p>CRC は、医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令 (GCP 省令) に治験協力者として規定されている。治験協力者について正しいのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 治験実施計画書に氏名を記載しなければならない。 2 治験協力者となっている治験に係る治験審査委員会における審議及び採決に参加することができる。

	<p>3 治験協力者に対しては、治験責任医師によって治験内容が十分に説明される。</p> <p>4 いわゆる医師主導治験の場合は、治験協力者を置くことができない。</p> <p>5 説明文書を読むことができない被験者となるべき者に対する説明の立会人になることができる。</p>																
メディヤマ	医薬品開発（治験）																
<p>問 324 （法規） 解答：1</p>	<p>70 歳男性。高血圧症で処方 1 を服用していた。ある日胸部不快感を自覚し、かかりつけのクリニックを受診した。心房細動の疑いがあることから、精査目的で市内の総合病院を紹介され受診したところ、心房細動、心不全と診断され、処方 2 が追加となった。</p> <p>（処方 1）</p> <table> <tr> <td>エナラプリルマレイン酸塩錠 5 mg</td> <td>1 回 1 錠（1 日 1 錠）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1 日 1 回 朝食後</td> </tr> </table> <p>（処方 2）</p> <table> <tr> <td>カルベジロール錠 2.5 mg</td> <td>1 回 1 錠（1 日 3 錠）</td> </tr> <tr> <td>ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩錠 126.83 mg</td> <td>1 回 1 カプセル（1 日 2 カプセル）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1 日 2 回 朝夕食後</td> </tr> </table> <p>処方 2 に含まれるダビガトランエテキシラートによる重篤な副作用である出血の回避や投与量の調節のために考慮すべき検査項目はどれか。1 つ選べ。</p> <table> <tr> <td>1 血清クレアチニン値</td> <td>2 AST 値</td> <td>3 白血球数</td> </tr> <tr> <td>4 PT-INR 値</td> <td>5 脳性 Na 利尿ペプチド値</td> <td></td> </tr> </table>	エナラプリルマレイン酸塩錠 5 mg	1 回 1 錠（1 日 1 錠）		1 日 1 回 朝食後	カルベジロール錠 2.5 mg	1 回 1 錠（1 日 3 錠）	ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩錠 126.83 mg	1 回 1 カプセル（1 日 2 カプセル）		1 日 2 回 朝夕食後	1 血清クレアチニン値	2 AST 値	3 白血球数	4 PT-INR 値	5 脳性 Na 利尿ペプチド値	
エナラプリルマレイン酸塩錠 5 mg	1 回 1 錠（1 日 1 錠）																
	1 日 1 回 朝食後																
カルベジロール錠 2.5 mg	1 回 1 錠（1 日 3 錠）																
ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩錠 126.83 mg	1 回 1 カプセル（1 日 2 カプセル）																
	1 日 2 回 朝夕食後																
1 血清クレアチニン値	2 AST 値	3 白血球数															
4 PT-INR 値	5 脳性 Na 利尿ペプチド値																
メディヤマ	ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩（治療・実務）																

問 326
(実務)
解答：5

輸液の調製依頼があった。生理食塩液、塩化カルシウム注射液 (0.5 mol/L)、塩化カリウム液 (1.0 mol/L)、50 w/v %ブドウ糖注射液及び注射用水を使って調製する時、必要量として適切な組み合わせはどれか。1つ選べ。塩化ナトリウム及びブドウ糖の式量は、それぞれ、58.5 及び 180 とする。

以下の電解質を含む輸液を調製する。

Na⁺ 77 mEq
Ca²⁺ 3 mEq
K⁺ 20 mEq
Cl⁻ 100 mEq

浸透圧を 300 mOsm/L に調整し、総量を 1L とする。

	生理食塩液	塩化カルシウム注射液 (0.5 mol/L)	塩化カリウム液 (1.0 mol/L)	50 w/v %ブドウ糖注射液	注射用水
1	250.4	3.0	20.0	100.2	626.4
2	250.4	3.0	10.0	50.9	685.7
3	250.4	6.0	10.0	50.9	682.7
4	500.7	6.0	10.0	100.2	383.1
5	500.7	3.0	20.0	50.9	425.4
6	500.7	6.0	20.0	100.2	373.1

単位は mL

メディアやま

mEq 計算

全統模試Ⅱ

問 336 電解質補給が必要な患者に対して、以下の組成の輸液を投与する事となった。投与速度は、ブドウ糖として 1 時間あたり 0.5 g/kg 体重とする。この患者に供給されるカリウム量は 1 分間あたり何 mmol (mEq) か。最も近い値はどれか。1つ選べ。ただし、患者の体重を 60 kg、K 及び Cl の原子量はそれぞれ 39.0 及び 35.5 とする。

成分	1 本 (500 ml) 中
塩化ナトリウム	0.45 g
塩化カリウム	0.745 g
L-乳酸ナトリウム	1.12 g
ブドウ糖	37.5 g

1 0.06 2 0.13 3 0.26 4 0.40 5 0.56

<p>問 340 (実務) 解答：4</p>	<p>60 歳男性。数年来、糖尿病治療のためのクリニックを受診している。このたび、糖尿病の病態悪化の傾向があり、現在服用中の薬剤に 1 薬剤が追加され、処方箋をかかりつけの薬局へ持参した。薬剤師がお薬手帳で現在服用中の薬剤を確認し、窓口で患者と以下の会話が合った。</p> <p>(現在服用中の薬剤)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">ボグリボース錠 0.3 mg</td> <td>1 回 1 錠 (1 日 3 錠)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1 日 3 回 朝昼夕食直前 28 日分</td> </tr> <tr> <td>メトホルミン塩酸塩錠 250 mgMT</td> <td>1 回 1 錠 (1 日 2 錠)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1 日 2 回 朝夕食直前 28 日分</td> </tr> </table> <p>(薬剤師と患者との会話)</p> <p>患 者：糖尿の薬がまた増えました。</p> <p> 今度の薬も 1 日 3 回、食前に飲む必要がありますか。</p> <p>薬剤師：新しく出た薬は 1 日 1 回ですよ。食前に飲み忘れた時は食後でもいいですよ。</p> <p>患 者：どんな薬なのですか。注意することはありますか。</p> <p>薬剤師：尿中に余分な糖を出すことで効果を発揮する薬です。</p> <p> 今まで通り、低血糖症状に気をつけてください。それに追加して排尿時の違和感にも注意してください。尿量が増えることで喉が渇きやすくなるかもしれません。その時は水分補給を忘れないでください。</p> <p>上記の会話から推測される糖尿病治療薬はどれか。1 つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 グリベンクラミド 2 シダグリブチンリン酸塩水和物 3 ピオグリタゾン塩酸塩 4 イブラグリフロジン L-プロリン 5 ミチグリニドカルシウム水和物 	ボグリボース錠 0.3 mg	1 回 1 錠 (1 日 3 錠)		1 日 3 回 朝昼夕食直前 28 日分	メトホルミン塩酸塩錠 250 mgMT	1 回 1 錠 (1 日 2 錠)		1 日 2 回 朝夕食直前 28 日分					
ボグリボース錠 0.3 mg	1 回 1 錠 (1 日 3 錠)													
	1 日 3 回 朝昼夕食直前 28 日分													
メトホルミン塩酸塩錠 250 mgMT	1 回 1 錠 (1 日 2 錠)													
	1 日 2 回 朝夕食直前 28 日分													
<p>メディヤマ</p>	<p>～グリフロジン：SGLT-2 阻害薬 副作用：脱水、尿路感染症、低血糖（薬理・治療）</p>													
<p>全統模試 I</p>	<p>問 331 経口糖尿病薬の用法及び用量に関する記述のうち、正しいのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>1 イブラグリフロジンL-プロリン錠は、通常 1 日 1 回朝食前または朝食後に服用する。</p>													
<p>問 342 (実務) 解答：2</p>	<p>2 歳 3 ヶ月 女児。体重 12 kg。湿性咳嗽に対して以下の処方箋が発行され、母親が薬局に持参した。当該薬局の調剤内規では「1 回の服用量が整数値となるように精製水を加える」となっている。</p> <p>(処方)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">カルボシステインシロップ 5%</td> <td>1 回 120 mg (1 日 360 mg) 【原薬量】</td> </tr> <tr> <td>プロカテロール塩酸塩シロップ 0.0005%</td> <td>1 回 15 μg (1 日 45 μg) 【原薬量】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上記を混合して 1 剤とする</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1 日 3 回 朝昼夕食後 3 日分</td> </tr> </table> <p>1 回の服用量として正しいのはどれか。1 つ選べ。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">1 4 mL</td> <td style="width: 20%;">2 6 mL</td> <td style="width: 20%;">3 8 mL</td> <td style="width: 20%;">4 10 mL</td> <td style="width: 20%;">5 12 mL</td> </tr> </table>	カルボシステインシロップ 5%	1 回 120 mg (1 日 360 mg) 【原薬量】	プロカテロール塩酸塩シロップ 0.0005%	1 回 15 μg (1 日 45 μg) 【原薬量】		上記を混合して 1 剤とする		1 日 3 回 朝昼夕食後 3 日分	1 4 mL	2 6 mL	3 8 mL	4 10 mL	5 12 mL
カルボシステインシロップ 5%	1 回 120 mg (1 日 360 mg) 【原薬量】													
プロカテロール塩酸塩シロップ 0.0005%	1 回 15 μg (1 日 45 μg) 【原薬量】													
	上記を混合して 1 剤とする													
	1 日 3 回 朝昼夕食後 3 日分													
1 4 mL	2 6 mL	3 8 mL	4 10 mL	5 12 mL										
<p>メディヤマ</p>	<p>水剤の秤量計算 (w/v%)</p>													